

「くらやみ城の冒険」(JJシ)

マージェリー・シャープ／作 渡辺 茂男／訳
ガース・ウィリアムズ／絵 岩波書店



ミス・ピアンカは大使のぼうやに飼われている優雅で美しい白ねずみ。ひよんなことから、くらやみ城に囚われた詩人を救出する任務を負った。仲間のバーナードとニルスと共に城へ向かったミス・ピアンカ。待ち受けていたのは、難攻不落の地下牢とどう猛な黒猫だった。

「ミス・ピアンカ シリーズ」は全7冊あります。

「ねむりひめ」(EJホ)

グリム兄弟／原作 フェリクス・ホフマン／え
せた ていじ／やく 福音館書店

かわいい王女の誕生祝い。ひとりだけ招かれなかったうらない女は、王女に呪いをかけた。そして15歳の誕生日、呪いの言葉どおりに指につむを刺した王女は、城と共に100年の眠りについた。数百年語り継がれたグリム童話の美しい絵本。



くらべてみよう！日本の城と西洋の城

「お城のできるまで」 (J5217)

阿久津 和生／文・絵
集文社

今から何百年も前、重機も鉄骨もない時代に、どうやってお城を建てたんだろう。



「キャッスル」(J5237)

デビッド・マコーレイ／作
桐敷 真次郎／訳
岩波書店

芸術作品のような西洋の城。中はどうなっているのかな？

狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646
狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801
狭山市公式HP <http://www.city.sayama.saitama.jp/>



よむぞうタイムズ

78号

5年生 6年生

狭山市立図書館 2020.7.1発行

その昔、世界各地に建てられた城。

城は外敵から人々を護り、人々もまた城を護ってきた。

長い歴史を持つ城には、たくさんの伝説が残っている。

この夏、遠くへ行けなくても、はるかな地

悠久の彼方へおもいをはせてお城の本を開いてみよう。



「信長とまぼろしの安土城」(J2107)

国松 俊英／著 文溪堂



戦国時代、天下統一を果たそうとした織田信長。彼はそれまでにはない、豪華で美しいお城を建てた。しかし、その城は混乱の中で焼け落ちてしまった。記録はたくさん残っているけれど、だれもこの城の本当の姿を知らない。いったいどんな城だったのだろうか。

「真田十勇士」I (JP11) 参上、猿飛佐助

小前 亮／作 小峰書店

身寄りのない佐助が山の中で助けた老人は、すぐ腕の忍者だった。白雲斎というこの老人の弟子になった佐助は、修行を積んで忍者として生きることを選んだ。

戦乱の時代、自分たちの正義を貫いた佐助と仲間たちの、勇気と冒険の物語。



「真田十勇士」は、2巻(JP12)・3巻(JP13)・外伝(JP1)もあります。



★図書館のお休みは、
ホームページでご確認ください★



「名探偵カッレ 城跡の謎」(JSリ)



アストリッド・リンドグレン／作
菱木 晃子／訳 平澤 朋子／絵
岩波書店

カッレが住んでいるのは、犯罪とは無縁の静かな町。でもこの夏は、いつもと違っていた。

仲良しの友だちの家にやってきた男が、どうみても怪しいやつ

なんだ。金属製の道具で城跡の扉の鍵を開けたり、夜中に動き回ったり。犯罪のにおいがプンプンする。名探偵カッレと仲間が秘密を探り出す。

リンドグレン・コレクション「名探偵カッレ」のシリーズは、他にもあります。

「ネジマキ草と銅の城」(JSE)

パウル・ビーヘル／作 野坂 悦子／訳
村上 勉／画 福音館書店



銅の城に住む年老いたマンソ
レイン王の余命は、このまま
だと長くて一週間。ネジマキ
草が必要だ。採ってくるまで
の間は薬がわりに「胸がわく
わくする物語を王に聞かせる
のだ」とまじない師は言うの
だが、城にいるのはノウサギ

だけ。語れる話はもう、一つも残っていない。
どうしよう。そんなとき、城の扉をたたく音が
聞こえてきた。

「万里の長城」(J222か)

加古 里子／文 常 嘉煌／絵 福音館書店



万里の長城は中国にある世界遺産。紀元前、北方民族の侵入を防ぐために築かれた壁がその始まり。修復や増築

を繰り返して、世界一長くて大きな建造物となっていた。防壁として人々の生活を守ったり、東洋と西洋との交流の場ともなったこの長城には、兵士たちが住める場所もあったんだって。さあ、万里の長城を探検しよう！



「兄ちゃんは戦国武将!」(JPサ)

佐々木 ひとみ／作 浮雲 宇一／画 くもん出版

春樹の家に伊達政宗から手紙が届いた。へたくそな筆文字で「達者」だとか「お役目」だとか書かれたその手紙は、音信不通の兄、夏樹からだった。



震災の復興のために「杜乃武将隊」で役者として働いているらしい。

仙台に乗り込んだ春樹は、自分との約束をやぶったまま、素知らぬ顔で政宗を演じる兄の姿を見て怒りが爆発。「なにが御屋形さまだ！」

「アレックスとゆうれいたち」(JD1)

エヴァ・イボットソン／作 野沢 佳織／訳
高橋 由為子／絵 徳間書店

12歳のアレックスは、スコットランドのカーウ城の城主。仲よしのゆうれいたちと暮らしていたが、城は売られ、解体されてアメリカへ運ばれた。城の再建のためにアメリカに渡ったアレックスと、城



にこっそり潜り込んでいたゆうれいたちが誘拐事件に巻き込まれた。個性豊かなゆうれいたちが大活躍！

「中世の城日誌」(J2307)

リチャード・プラット／文 クリス・リデル／絵
長友 恵子／訳 岩波書店

13世紀のイギリス、トビーは従者の修行をするためにストランドボロー城にやってきた。「ひょっとしたら、騎士にだってなれるかもしれない！」なんて甘かった。お城の生活は仕事も勉強も、覚えることが山とある。トビーといっしょに中世のお城の暮らしをのぞいてみよう。



「子どものときに読みたい本100冊」(さやまの100冊)は狭山市の教育委員会がおすすめしている本です。図書館ではこのマークが目じるしです。ぜひ、読んでみてね。

毎月23日は「家庭読書の日」 狭山市教育委員会